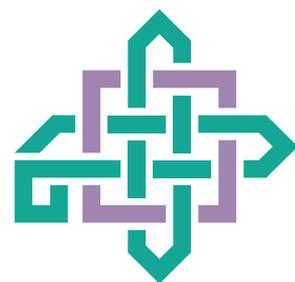


連携の絆を深め、輝く明日へ



ニュースレポート

中央会

NEWS REPORT CHUOKAI

No.765

2019

12



全道大会決議に基づく要望活動
—札幌市などへの要望を実施



第71回中小企業団体全国大会



ものづくり補助金活用事例紹介
～株式会社スリービー～

北海道中小企業団体中央会

Contents

- 01 秋の叙勲・褒章
- 02 北海道中小企業青年中央会青年部講習会／女性研修会レポート
- 03 第71回中小企業団体全国大会
- 04 ビジネス EXPO「第33回北海道技術・ビジネス交流会」
- 05 災害に負けない「事業継続力」の強化を応援します！／
12月1日～31日は「国家公務員倫理月間」です！
- 06 医師が教える、働く人のヘルスケア②
「大事なことは生活習慣と感染症？」
～北海道医師協同組合 常務理事 平賀俊尚氏～
- 08 令和元年度労働事情実態調査②
- 10 ものづくり補助金活用事例紹介
～株式会社スリービー～
- 12 10月の道内景況
- 14 支部だより
- 16 中小企業大学校旭川校からのお知らせ
中小企業基盤整備機構からのお知らせ



全道大会決議に基づく要望活動 ——札幌市などへの要望を実施

中小企業団体全道大会(8月7日、札幌市で開催)の決議事項の実現を図るため、11日14日に札幌市などに対し要望を行いました。

当日は、尾池一仁会長と副会長2名に事務局を加えた要望団が札幌市に出向き、村山英彦経済観光局長に要望書を手渡し、道内の中小企業・小規模事業者の事業環境の厳しさを訴え、要望の実現をお願いしました。

また、同じ日に開催された自由民主党札幌市支部連合会の政策要望懇談会においても要望を行いました。

受章おめでとうございます

秋の叙勲・褒章

～本会関係者7名が荣誉に輝く～

業界や地域における長年の優れたご功績によって、令和元年秋の叙勲・褒章を受けられた本会関係者をご紹介します。栄えある受章を心からお祝いし、今後ますますのご活躍をお祈りします。



旭日双光章

朝倉 幹雄 氏

(当会副会長)
(北海道ソフトウェア協同組合 理事長)



旭日双光章

小西 廣幸 氏

(当会副会長)
(札幌公衆浴場商業協同組合 理事長)



黄綬褒章

林 伸幸

(当会常任理事)
(北央信用組合 理事長)



旭日双光章

山崎 市郎 氏

(札幌振自動車事業協同組合 元副理事長)



瑞宝双光章

大塚 一博 氏

(美深町商工業協同組合 監事)



瑞宝双光章

渡部 徳樹 氏

(企業組合くれぱす 監事)

令和元年度第2回青年部講習会を開催!

北海道中小企業青年中央会(大久保高明会長、会員60青年部)の本年度2回目となる青年部講習会が10月25日、函館市において開催され、道内の会員と全国、東北・北海道ブロックの青年中央会代表者を交えた48名が集まりました。

今回のプログラムは、工場見学と講習会の二部構成。第一部の工場見学では、函館で70余年にわたり松前漬やいか塩辛など水産加工食品の製造販売を営む株式会社布目のご協力により、布目征康取締役の案内で工場内でのいか塩辛の製造工程を見学したほか、石黒義男社長から業界の展望、企業理念等について説明していただきました。

第二部は、会場をホテル函館ロイヤルに移して行われ、講師の6次産業化中央サポートプランナー勝瀬典雄氏から「異業種連携による新たな事業展開の可能性について～成功事例から見る異業種連携成功のポイントとは～」をテーマに日本の中小企業の存続と活性化に資する異業種連携のあり方について、今治タオルのブランド化など実際の取組事例を交えた講話を受けました。参加者は熱心に聞き入り、講話の終了後には多くの質問や感想が飛び交い活発な講習会となりました。

その後に行われた交流会は、大久保会長の挨拶で始まり、それぞれの青年部からの活動報告などで大いに盛り上がり、参加者は青年部組織活動のさらなる発展を誓い合いました。



挨拶する大久保会長



株式会社布目での工場見学



講師の勝瀬典雄氏



青年部による活動報告

女性研修会レポート



北海道自転車軽自動車協同組合 小川 雅子さん

11月8日、ニューオータニイン札幌で開催された令和元年度組合等女性研修会に参加させていただきました。

今年の研修会は、お食事のカウンセリングサロンcolan代表の上坂マチコ先生に「健康的に働く女性のための食事術」というテーマでご講演をいただき、アンチエイジングにはどういった食材が効果的か、また気持ちの持ち方も大事な話とお話がありました。

ふだん「野菜をたくさん摂る」「海藻類が健康に良い」などの漠然とした情報だけで、それすらも実践になかなか結びつかない生活を送っていましたが、「穀類は茶色いものを選ぶ」「ヨーグルトや納豆は夜にとる」など、日常生活をほんの少し改善するだけでも効果があることを学びました。講演の最後は「元気でいたい」「若くいたい」という気持ちが大切という言葉で締めくくられ、栄養と聞くだけで身構えていた私にも、できることがたくさんあることを知り、今後の生活に活かしていきたいと思いました。

研修会後に行われた交流懇親会では、ほかの組合の方々と「野菜から食べるといいのね」などと、研修会で習った話をしながら楽しく交流することができました。

貴重なお話を聞かせていただいた上坂先生並びに中央会事務局の皆様へ感謝いたします。ありがとうございました。



講師の上坂マチコさん



中央会 平塚理事



中央会 鹿森監事



熱心に聞き入る参加者



大盛り上がり交流懇親会

～時空を超えて 舞台は鹿児島から～

第71回中小企業団体全国大会開催



「新時代の幕開け 団結でひらく 組合の未来」を合言葉に、第71回中小企業団体全国大会が鹿児島市において、全国から約3,000名の関係者が参加し開催されました。

開会に当たり主催者の森洋 全国中央会会長と開催地の小正芳史 鹿児島県中央会会長からそれぞれ挨拶があった後、中野洋昌 経済産業大臣政務官をはじめご来賓の方々から祝辞をいただきました。

大会は、小正鹿児島県中央会会長を議長に議事が進められ、豪雨や台風で被災した事業者の復旧・復興措置のほか、消費税率引上げや働き方改革に伴う対策の強化など、全国の中小企業・小規模事業者の持続的発展を実現するための対策の拡充に関する16項目を決議しました。

議事終了後、岩重昌勝 鹿児島県中央会副会長から大会宣言があり、満場の賛同を得て採択されました。

引き続き、優良組合34組合、組合功労者86名、中央会優秀専従者22名の表彰式が行われ、本会からは、優良組合として旭川塗装工業協同組合が、組合功労者として協同組合日専連 旭川 鎌田嘉範前理事長、

協同組合石狩新港卸センター 杉山隆俊顧問、北央信用組合 林伸幸理事長、北海道電気資材卸業協同組合 三神司理事長の4名が表彰されました。

最後に、次期開催地を茨城県とすることが発表され、大会旗が森全国中央会会長から阿部真也 茨城県中央会会長に引き継がれ閉会しました。

大会に併せて企画した恒例の本会オリジナルツアーには15名が参加し、天草島原の乱など潜伏キリシタンの歴史資料を展示する「天草市立天草キリシタン館」や国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された「入来麓武家屋敷群」、陸軍航空隊の特攻に関する資料を集めた「知覧特攻平和会館」などを巡り、交流と親睦を深めました。



全国中央会 森会長



総代を務めた旭川塗装工業協同組合 吉田信治理事長



鹿児島サンロイヤルホテルでの記念撮影

全国大会決議

I. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充

中小企業・小規模事業者の持続的な成長と生産性向上に向けた対策の強化／生産性向上に向けた人材育成の強化／地方創生促進に向けた対策の強化／事業承継・後継者育成等への支援策の拡充と組合支援措置の強化／中小企業組合・中央会に対する支援の拡充

II. 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

働き方改革の実現に向けた中小企業への配慮／中小企業の人材確保・定着対策／地域の実情を踏まえた最低賃金の設定／外国人技能実習制度の円滑化と拡充／外国人材の受入れ体制の整備／雇用保険制度の見直し／障害者雇用への中小企業支援策の拡充／国による職業訓練機能の拡充・強化／社会保険制度等の整備

III. 震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充

東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、豪雨災害等に対する復旧・復興の更なる推進／福島復興・創生に向けたきめ細かな対策の実施／地域の防災・減災対策の強化推進

IV. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

中小企業金融施策の拡充／中小企業・組合税制の拡充／中小製造業等の持続的発展の推進／エネルギー・環境対応への支援の拡充／卸売・小売業・まちづくりの推進、中心市街地活性化に対する支援の拡充／サービス業支援の強化・拡充／官公需対策の強力な推進／海外展開に対する支援の拡充／公正かつ自由な競争の確保

ビジネスEXPO

第33回北海道技術・ビジネス交流会開催



11月7日、8日の2日間にわたり、道内最大級のビジネスイベント「ビジネスEXPO北海道技術・ビジネス交流会」がアクセスサッポロで開催されました。

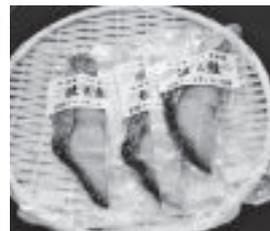
第33回目となる今年は、“北海道の強み”を活かし、既成概念にとらわれない独創的かつ豊かな発想で「時代をリードする新たなビジネス」を北海道から生み出していくことを目指し、「新時代に挑む Business×Innovation×Success」をテーマに道内を中心に330の企業・団体が出展し、2日間で21,700人の来場者を集めるなど、過去最大規模となりました。

開会式では、北海道 鈴木直道知事、実行委員長であるノーステック財団 真弓明彦理事長の開会挨拶、北海道経済産業局 牧野剛局長、札幌市 町田隆敏副市長からの祝辞の後、本会朝倉副会長ら関係機関の代表14名によるテープカットが行われました。

会場内は、テーマごとに6つのゾーンに分かれ、出展した各企業・団体が先端技術を駆使した製品や事業内容をPRしました。「スマートエネルギーフォーラム2019」など特色ある10事業が同時開催されたほ

か、女子レスリング金メダリストの吉田沙保里氏などを講師に迎えたビジネスセミナー、学生向けの企業説明会など多彩なプログラムも用意されました。

また、昨年に引き続き、本会が事務局を担っている「ものづくり補助金」の成果事例のコーナーも設置され、採択企業20社が出展したブースには、鈴木知事をはじめ多くの来場者が訪れました。



ものづくり補助金 成果事例発表会 出展企業

旭川計量機株式会社	株式会社エーデルワイスファーム	央幸設備工業株式会社
家具工房 Peek	株式会社技研工房	株式会社コバルテック
株式会社サン高千穂	正和電工株式会社	株式会社道栄重機
橋谷株式会社	株式会社ネイビーズ・クリエイション	飛栄建設株式会社
株式会社北海光電子	株式会社北海道えぞ鹿ファクトリー	北海道オリンピック株式会社
北海道地図株式会社	株式会社ホリモトワールド	株式会社万両屋
有限会社ヤマチュウ食品	株式会社ゆほびか	

国からのお知らせ

災害に負けない「事業継続力」の強化を応援します!

経済産業省では、中小企業・小規模事業者の方々が、防災・減災に向けて取り組む計画を認定します。計画の認定を受けた事業者の皆様は、下記の支援策(優遇制度)をご活用いただけます。

■認定事業者への支援策

1. 日本政策金融公庫による低利融資(設備資金)
2. 信用保証枠の追加
3. 防災・減災設備に対する税制優遇
災害時に役立つ設備(自家発電設備、制震・免震ラック、止水板等)を導入した場合に特別償却(20%)が可能
4. 補助金の優遇措置
5. 本制度と連携いただける企業・団体からの支援
6. 認定ロゴマークの使用



〈認定ロゴマーク〉

■「事業継続力強化計画」策定支援事業

「事業継続力強化計画」の策定を支援するために、経済産業省では計画の申請を検討している中小企業・小規模事業者に対して、専門家を派遣し、防災・減災への事前対策の取組の検討と、その計画策定を個別支援するハンズオン支援を実施します。

〈北海道経済産業局 HP〉

【URL】<https://www.hkd.meti.go.jp/information/chusho/kyoujinka.htm>



経済産業省北海道経済産業局中小企業課

電話(代表):011-709-1783(内2575)

12月1日～31日は「国家公務員倫理月間」です!

国家公務員倫理審査会では、毎年、国家公務員倫理週間を設け、様々な啓発活動を行っていますが、本年度は、国家公務員倫理審査会創立20年の節目であること、昨今の公務員倫理をめぐる情勢等を踏まえ12月1日～31日を『国家公務員倫理月間』とし、各種啓発活動を実施することといたしました。

企業の皆様と国家公務員が接する際、国家公務員には一定のルールがあります。企業と「利害関係」(契約関係、許認可の申請、立入検査を受ける等)のある国家公務員に対し、例えば以下の行為をすると、相手方の国家公務員が倫理法違反に問われます。

- ・金銭、物品等の贈与をすること ・車による送迎など無償のサービスを提供すること
- ・供応接待をすること(「割り勘」による飲食は可能)

これらの行為のほかにも禁止される行為があります。

詳細は、国家公務員倫理審査会ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jinji.go.jp/rinri/>



お問合せ:国家公務員倫理審査会事務局

電話(代表):03-3581-5311

医師が教える、 働く人のヘルスケア②

北海道医師協同組合常務理事
労働衛生コンサルタント
日本医師会産業医

内科医 平賀 俊尚 氏



大事なことは生活習慣と感染症？

前回、健康な生活を送るために、避けるべき危険因子は何かについてお話ししました。最も危険な順番で、1位「喫煙」、2位「高血圧の放置」、3位「運動不足」であることは覚えて頂けたでしょうか。特に喫煙は「百害あって一利なし」、自分の健康のみならず、受動喫煙によって周りの人をも死に追いやる危険があります。タバコを吸っている方は、早急に禁煙してください。

さて、それでは、4位以下についても検討してみましょう。96万件の死亡原因を解析した「健康日本21」のデータでは、次ページの表1のようになります。

この表を見て、皆さんもお気づきになると思いますが、一つは、禁煙や減塩などの食生活の改善、運動の実施等々、「**生活習慣次第で、がんなどの疾病や死亡を回避できる可能性がある**」ということ。そしてもう一つは、色が濃くなった欄を見てください。「**感染症予防が、がんの予防につながる可能性がある**」ということです。

今回は、後者の「感染症とがん」の関係についてお話ししたいと思います。

1. 表の7位の「**ヘリコバクター・ピロリ菌**」は、皆さんもご承知のように、胃がんの発症原因の一つです。日本人の場合、年齢が高い方ほどピロリ菌に感染している率が高く、50～60歳代以上の方の60～70%以上の方が感染しているといわれています。感染経路については、以前は汚染された井戸水などの生活用水に混入したピロリ菌が原因と言われていましたが、最近では、ヒトからヒトへの経口感染も考えられています。ピロリ菌は幼少期に感染するので、「離乳食を嘔んで与える行為」は危険です。治療に関しては、抗生剤の服用で、かなりの確率でピロリ菌を除菌することができます。そして、除菌すると胃がん

予防の効果があることが証明されています。

2. 9位の「**C型肝炎ウイルス感染**」は、このウイルスの感染が持続すると、時間の経過とともに慢性肝炎→肝硬変→肝がんを発症します。予防ワクチンはありませんが、普通の日常生活では感染することはありません。感染者の血液を介してうつりますから、歯ブラシ、かみそり等の共用は避けましょう。また最近では治療薬の進歩で、95%以上の患者が完治するようになりました。近い将来、C型肝炎ウイルスは根絶されるだろうとされています。

3. 12位の「**B型肝炎ウイルス感染**」は、C型肝炎ウイルスとは異なり、いまだに完治が難しい疾患です。しかし、こちらも治療薬の進歩で、ウイルスの増殖を抑えて肝炎を鎮静化させ、肝硬変や肝がんへの進行をかなり抑えることができるようになってきました。そして、予防ワクチンが存在しますので、新たな患者の発生を抑えることができます。

C型肝炎、B型肝炎については、各市町村及び保険者等によって「肝炎ウイルス検査(検診)」が実施されているので、自分が感染しているかどうかを、必ず確認しておくのが良いと思います。

4. 14位の「**ヒト パピローマウイルス(HPV)感染**」は女性の子宮頸がんの原因となります。セックスで感染する、いわゆる性感染症の一種です。性交渉の経験がある女性のうち50%～80%は、生涯で一度はHPVの感染機会があると言われています。こちらも予防ワクチンがあり、日本では2013年4月から、若い女性を対象に、公費での定期接種が始まりました。しかし、ご存知の方も多いでしょうが、慢性疼痛や運動障害などの副作用で、わが国ではその普及が遅

れてしまいました。WHOは「ワクチンとの因果関係はない」と言っています。日本では、年間約1万人が子宮頸がんを発症し、3000人近くがこの疾患で亡くなっています。今後、このワクチンの扱いについての真剣な議論が必要です。

5. 15位「ヒト T細胞白血病ウイルス1型感染」は成人T細胞性白血病や悪性リンパ腫の原因となります。このウイルスに感染しても、成人T細胞白血病を発症する確率は約5%未満といわれています。母乳による母子感染(60~70%)と性交渉による感染(20~30%)が主な感染ルートです。感染している母親は母乳を与えないことで感染を予防します。性交渉による感染予防にはコンドームの使用が有効です。予防ワクチンはありません。

以上、簡単ですが、「生活習慣の改善と感染症の予防」によって、「がんをはじめとする、死に至る疾病の回避につながる可能性について」ご紹介いたしました。紙面の関係で、4位以下の「生活習慣」についての

詳しいコメントはできませんでしたが、まとめると、以下の11項目が健康を維持するために重要であることがお解りいただけたでしょうか？

1)禁煙、2)血圧管理、3)運動習慣、4)血糖管理(カロリー制限)、5)塩分制限、6)アルコールの過剰摂取の禁止、7)LDLコレステロール(悪玉コレステロール)管理、8)多価不飽和脂肪酸(EPAやDHA)をしっかりとる(青魚など)、9)肥満を避ける、10)果物・野菜をしっかりとる、そして11)感染症の予防です。皆さんは、いくつの項目を達成できますか？ これらは皆さんの努力で達成可能なのです。

最後に、予防接種として忘れてはならないものがあります。「高齢者の肺炎球菌ワクチン」です。肺炎で亡くなる人の97%以上は、65歳以上の高齢者です。65歳になったら公費助成のある「肺炎球菌ワクチン」を是非、接種してください。私も昨年、接種しました(笑)。

危険順位	危険因子	死因となる疾患(1位・2位・3位)
1	喫煙	各種がん・心臓病・呼吸器病(COPD)
2	高血圧	心臓病
3	運動不足	心臓病・各種がん・糖尿病
4	高血糖	心臓病・糖尿病
5	塩分の高摂取	心臓病・各種がん
6	アルコール摂取	各種がん・その他の非感染性疾患・外因
7	ヘリコバクター・ピロリ菌感染	胃がん
8	高LDLコレステロール	心臓病
9	C型肝炎ウイルス感染	肝がん
10	多価不飽和脂肪酸(EPAやDHA)の低摂取	心臓病
11	肥満・過体重	心臓病・各種がん・糖尿病
12	B型肝炎ウイルス感染	肝がん
13	果物・野菜の低摂取	心臓病・各種がん
14	ヒトパピローマウイルス感染	子宮頸がん
15	ヒトT細胞白血病ウイルス1型感染	白血病

表1. 健康日本21(第2次)の推進に関する参考資料「2007年の非感染性疾患と障害による成人死亡の主要な決定因子(単一の因子)より作成

1 中途採用

(1) 中途採用の有無(全国比)

中途採用の実施の有無について〈図1〉のとおり。
最も多かったのは、「行った」の71.5%で、全国を2.1ポイント上回った。次いで「行わなかった」が22.2%で、全国より3.8ポイント多い。

北海道は、「行った」「行ったが採用には至らなかった」と答えた、中途採用を実施した事業所が77.8%と、全国より3.8%多い。

(2) 中途採用の理由(全国比)

中途採用の理由は〈図2〉のとおり、「退職者・欠員補充のため」が最も多く66.8%。

また、「技術等をもった人材を確保するため」が30.2%で5.4ポイント、「即戦力を確保したいため」が33.3%で全国を2.3ポイント上回った。

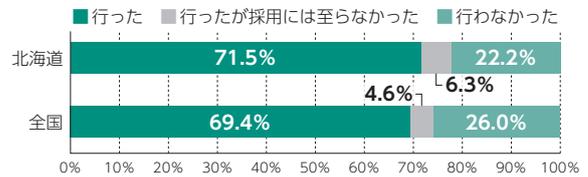
また、「事業が拡大したため」は3.6ポイント、「業務が繁忙になったため」は1.6ポイント下回っている。

理由の中では全体的に、人手不足の解消に起因する理由が多かった。

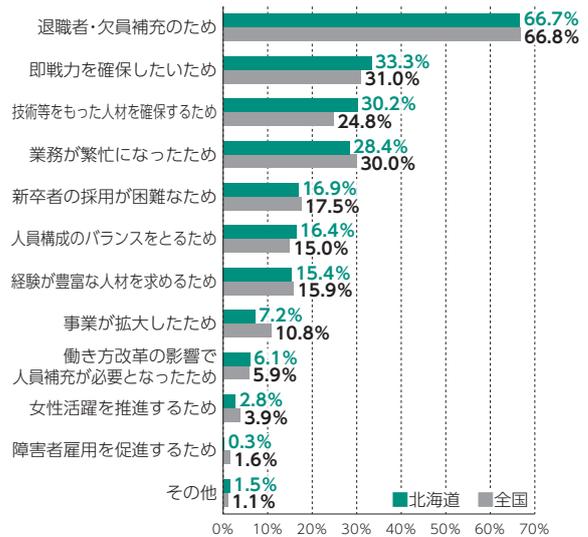
(3) 中途採用の職種(全国比)

中途採用の職種は〈図3〉のとおり、すべての業種が全国比を下回っている。「現業・生産業」が最も多く43.9%、全国を10.5ポイントと大きく下回った。次いで、「管理職」が1.0ポイント、「技術・販売職」が0.6ポイント全国平均より下回った。

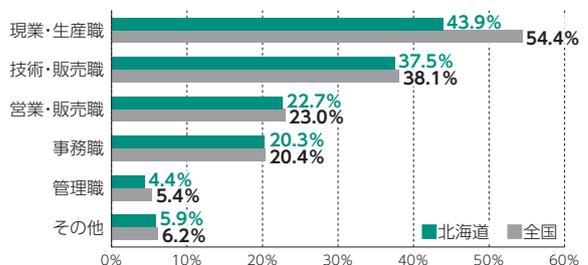
〈図1〉長時間労働への対応



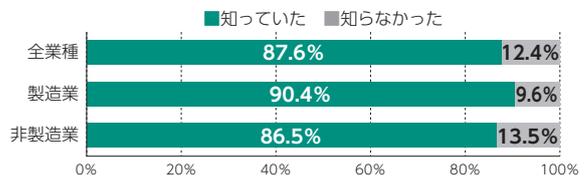
〈図2〉中途採用の理由(全国比)



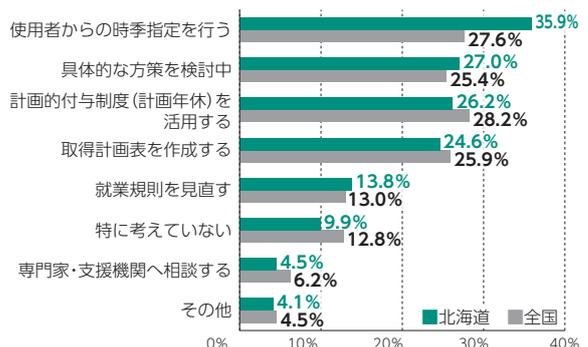
〈図3〉中途採用の職種(全国比)



〈図4〉年次有給休暇取得(付与)義務の認識



〈図5〉年次有給休暇取得(付与)義務への対応(全国比)



2 年5日の年次有給休暇の取得(付与)義務

(1) 年次有給休暇取得(付与)義務の認識

年次有給休暇取得(付与)義務の認識については〈図4〉のとおり、「知っていた」と回答した事業所は全業種で87.6%、製造業では「知っていた」が90.4%と全業種平均を2.8ポイント上回った。

(2) 年次有給休暇取得(付与)義務への対応

年次有給休暇取得(付与)義務への対応については〈図5〉のとおり、「使用者からの時季指定を行う」と答えた事業所は35.9%と最も多く、全国と比べて8.3ポイント高い。北海道では積雪により冬季が繁忙期、あるいは閑散期となる業種が全国平均より多いため、大きく差がついたと思われる。

「計画的付与制度(計画年休)を活用する」は26.2%で2.0ポイント、「取得計画表を作成する」は1.3ポイント全国より下回っている。

3 平成31年3月 新規学卒者の採用状況

(1) 新規学卒者の採用状況

(採用割合、平均採用数、学歴別等)

平成31年3月の新規学卒者の採用状況は〈図6〉のとおり、回答事業所のうち採用のあった事業所の割合は16.4%で、採用数は1事業所当たり平均2.4人であった。

前年3月卒の採用状況との比較では、採用事業所の割合が1.1ポイント増加し、1事業所当たりの平均採用人数は0.5人減少した。

採用人数は、過去5ヶ年で最も低い結果となった。

(2) 技術系初任給の推移

学歴別の技術系初任給(直近5ヶ年)の推移を示すと、〈図7〉のとおり。

「高校卒」の初任給は、前年と比べて3,136円増加の167,624円で、3年連続の増加となった。

一方で「大学卒」、「短大卒」と「専門学校卒」の初任給が下がっており、「短大卒」は4,315円減少の178,685円、「大学卒」は3,875円減少し200,493円となった。

*ここでの平均は加重平均を用いており、事業所毎の1人当たりの平均初任給額に採用した人数を乗じて得た数の総和を、各事業所で採用した人数の総和で除している。

(3) 事務系初任給の推移

学歴別の事務系初任給(直近5ヶ年)の推移を示すと、〈図8〉のとおり。全学歴が前年より増加している。

「専門学校卒」は前年より8,670円増加し179,417円、「大学卒」では前年より1,986円増加し190,214円となった。さらに「高校卒」は前年より3,613円増加の156,973円となり、「短大卒」の初任給は前年と比べて3,390円増加し169,140円、となった。

4 令和2年3月 新規学卒者の採用計画

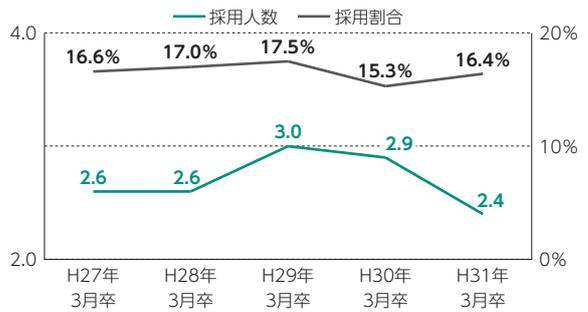
(1) 新規学卒者の採用計画の推移

及び学歴別の採用計画

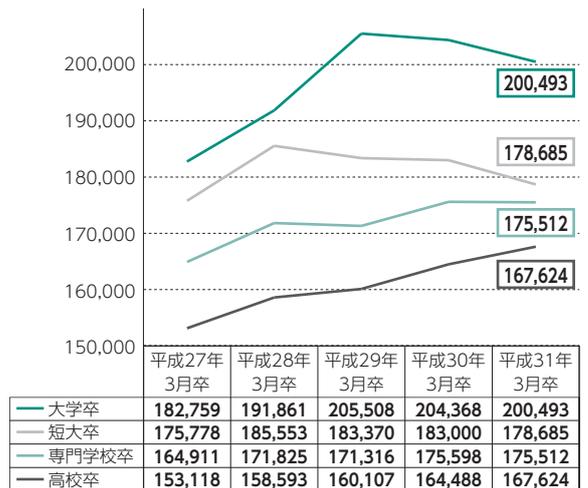
新規学卒者の採用計画の推移は、〈図9〉のとおり。令和2年3月卒の採用計画については「ある」が31.0%、「ない」が43.3%、「未定」は25.6%であった。

なお、採用計画が「ある」と回答した事業所は、前年より0.7ポイント増加し、3割を超えている。採用計画が「ない」と回答した事業所は0.4ポイント減少している。採用計画が「ある」事業所が年々増加し、「ない」事業所が年々減少している。

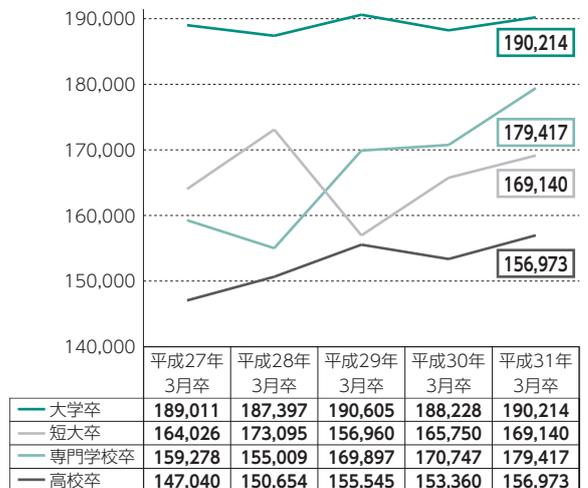
〈図6〉採用割合及び1事業所当たりの平均採用数



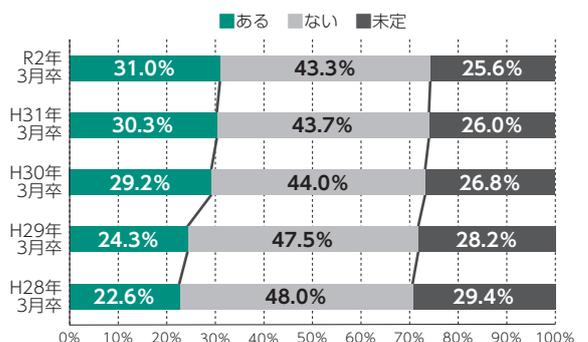
〈図7〉技術系の初任給の推移



〈図8〉事務系の初任給の推移



〈図9〉新規学卒採用者の過去5ヶ年の採用計画



本調査の実施にあたり、ご協力いただきました会員組合及び組合員企業の皆さまに深く感謝申し上げます。



栽培日数を6日短縮したたもぎ茸の ブロック栽培システム確立

第46回目は、「株式会社スリービー」(平成25年度補正ものづくり補助金)の取組について紹介します。

会社の概要

株式会社スリービーは、昭和60年、南幌町で設立され、たもぎ茸の栽培・加工のほか、成分等の研究開発を行っています。

平成17年には、道立(現道総研)林産試験場との共同研究により、食品機能性が高く生産効率に優れた同社オリジナルのたもぎ茸原菌「エルムマッシュ291」の開発に成功。エルムマッシュ291は、たもぎ茸として日本初の品種登録種となりました。

また、たもぎ茸濃縮エキス100%の健康食品「バイオゴッド」は、健康でいられる体づくりに関する科学研究が行われたとして北海道食品機能性表示制度(ヘルシーDo)の認定を受けるなど、同社のたもぎ茸の機能性成分は注目されています。

現代人の食と健康に新たな光をもたらすたもぎ茸を多くの人々に届け、「21世紀は菌界の時代」を合言葉に豊かな食卓と健康な未来を支えるために邁進しています。



たもぎ茸濃縮エキス「バイオゴッド」

幻のキノコ「たもぎ茸」

たもぎ茸は、ヒラタケ科の食用キノコで、主に北海道や東北地方に自生しており、初夏に旬を迎えます。だしの王様と言われるほど、さまざまな旨み成分をバランスよく含んでいるのが特徴ですが、天然ものは収穫量が少なく、ほとんどが地元で消費されるため、めったに市場に流通することがなく、幻のキノコとも言われてきました。

同社では、その希少な味わいを家庭でも手軽に食べられるようにするため、昭和60年に人口栽培の技術開発に着手。先進のバイオ技術を元に独自の人工栽培システムの確立に成功して以来、研究開発を積み重ね、現在では全国総生産量の80%以上のシェアを占めています。

同社のたもぎ茸には、免疫力アップが期待できるβ-Dグルカンや抗酸化作用があるエルゴチオニンなどの有効成分が豊富に含まれており、旨みだけでなく、その機能性の高さから学校給食にも採用され、多くの小・中学生が同社のたもぎ茸を食べています。



黄金色に輝く幻のキノコ「たもぎ茸」

株式会社スリービー

代表取締役社長 石田 真己

〒069-0238

空知郡南幌町元町1丁目1番1号

TEL 011-378-2273 FAX 011-378-2174

HP <http://www.three-b.co.jp/>

ものづくり補助金申請の経緯

生産現場では、たもぎ茸を栽培するビンの殺菌や学校給食用の水煮の茹で作業などの工程で燃料の使用量が多いため、近年の燃料高騰のあおりを受け、生産コストが年々割高になり、利益を圧迫していました。

そこで、より効率的な栽培システムを確立し、生産コスト低減と増産に取り組むため、ものづくり補助金を活用しました。



導入した自動菌床ブロック成型機

道内初、たもぎ茸の二次発生に挑む

従来は、樹木のおがくずをベースとした培地(菌床)を充填した栽培ビンにたもぎ茸の種菌を培養し栽培する、いわゆるビン栽培で生産しており、キノコを刈り取った後の菌床はビンから取り出して、たい肥や土壌改良剤の原料に活用していました。

補助事業では、ビン栽培で使用した後の菌床に着目。ビンから取り出した菌床をそのまま再利用して菌床ブロックを成形し、道内初となるたもぎ茸の2



次発生に取り組むことを計画しました。

効率よくブロック栽培を行うため、既存のビンから菌床を取り出す設備を活かした新たな生産ラインを構築することにしました。取り出した菌床に雑菌が入り込むと発育を阻害してしまう恐れがあるため、導入した自動菌床ブロック成型機と既存設備はコンベアでつなぎ、できるだけ菌床が空気に触れないようコンパクトに設置しました。

その結果、ブロック栽培はビン栽培と比較して栽培日数が6日も短いことに加え、1株が大きいので収穫量が増加し、ビン栽培のものとの差別化が可能となりました。また、殺菌などの作業工程も省略できたので、1次発生時に比べて生産コストが30%も削減されるなど、生産効率が大幅に向上しました。



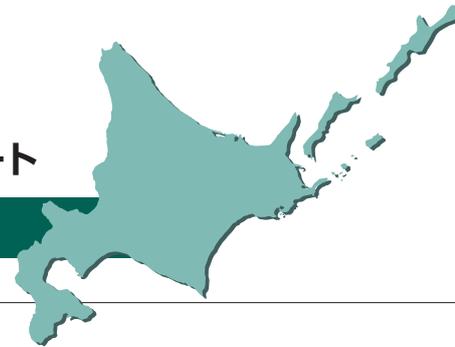
迅速にブロック成型機に送ることで、品質を保持する

おわりに

全国的にはまだ知名度が低いたもぎ茸ですが、今後は、食育などを通して、さらに多くの人においしさや効能などの魅力を知ってもらい、北海道の名産品のひとつと言われるようになることを目指しています。

次回は、「斜里ポテト協同組合」の取組を紹介します。

10月の道内景況 情報連絡員レポート



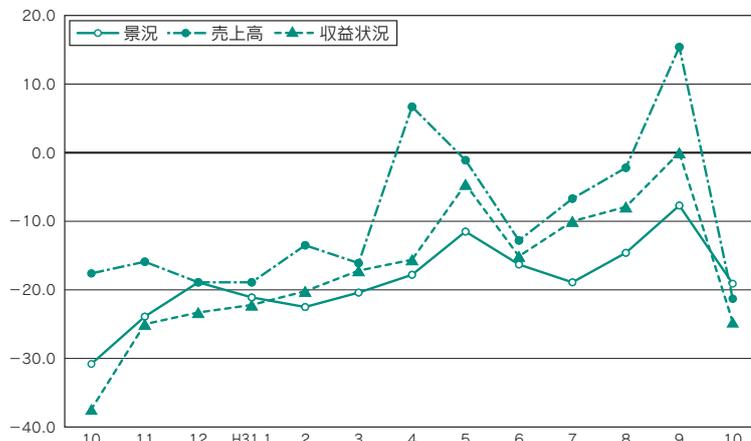
主要DIがそろって悪化 非製造業の落ち込み顕著

概況

主要DIの推移では、全項目で大幅に悪化した。

業種別に見た各DIの前月比較では、製造業では「景況」「売上高」「取引条件」が若干改善したが、「販売価格」「資金繰り」「雇用人員」が悪化した。非製造業では「販売価格」以外の全項目が悪化し、特に「景況」「売上高」「収益状況」が大幅に悪化した。

主要DIの推移



景況天気図 (前年同月比)

	全業種			製造業			非製造業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
業界の景況	△7.7	△19.1	△11.4 →	△33.3	△27.3	6.1 ↗	6.9	△14.3	△21.2 ↘
売上高	15.4	△21.3	△36.7 ↘	△12.1	△9.1	3.0 ↗	31.0	△28.6	△59.6 ↘
収益状況	0.0	△24.7	△24.7 ↘	△21.2	△21.2	0.0 →	12.1	△26.8	△38.9 ↘
販売価格	5.5	4.5	△1.0 ↘	6.1	3.0	△3.0 ↘	5.2	5.4	0.2 ↗
取引条件	△2.2	△4.5	△2.3 ↘	△9.1	△6.1	3.0 ↗	1.7	△3.6	△5.3 ↘
資金繰り	△2.2	△6.7	△4.5 ↘	△9.1	△15.2	△6.1 ↘	1.7	△1.8	△3.5 ↘
雇用人員	△8.8	△14.6	△5.8 ↘	0.0	△12.1	△12.1 ↘	△13.8	△16.1	△2.3 ↘

(凡例) 30以上 10~29 9~△10 △11~△29 △30以下



天気図の見方 各景況項目について調査月と前年同月を比較して、「増加」(または「好転」)したという回答(構成比)から「減少」(または「悪化」)という回答(構成比)を差し引いた値(D・I)をもとに作成。その基準は上記のとおりである。

製造業

- ・前年同月とほぼ変わらず。(水産食料品/全道)
- ・消費税増税となったが買い控え等の影響は見られず例年と変わっていない。(めん類/全道)
- ・10月から消費増額になり、消費者の消費動向が注目されていたが、軽減税率が導入されたことや、5%のポイント還元等の対応策が功を奏しているのかは未だ断定できないが、飲料水の売上の落ち込みはほとんどないようだ。10月3日から最低賃金が861円と3%ほどアップしたが、収益状況にどの程度影響していくかが、今後注目されることである。(飲料/全道)
- ・原木価格が高止まりしているなかで、製品受注に陰りが出てきており価格転嫁が難しくなっている模様。(一般製材/全道)
- ・原木在庫は昨年より増加しているものの、例年より少ない。仕入単価の上昇と製材受注量の減少が、生産効率を下げ収益悪化に拍車をかけている。(一般製材/札幌)
- ・増税前の駆け込み需要も増税後の落ち込みもなく、大きな変化はなかった。渡島地区は沢山のホテルが新築されているが、地元のガラス業界は昨年来概ね暇だと言っている業者が多い状況である。(窯業・土石製品製造業/全道・ガラス)

- ・自動車は普通。鋳鋼品は悪い。水道資材はやや良い。建設機械は普通。農業機械・一般鋳物は普通。
- ・労働者不足は続いているが、受注が停滞してきているので、雇用判断が難しい。(銃鉄鋳物/全道)
- ・今後の課題として組員各事業所は、納期の見直し工程の事前計画を徹底することが、今まで以上に重要になってくる。労働時間短縮で賃金が減少し組員は更に厳しい状況。(金属製品/函館)
- ・目立った動きはない。(金属機械工作/札幌)
- ・11月に北海道では初めて3級技能検定試験を開催。人材不足の中、外国人実習生を受け入れている企業が増加してきているようである。(金属機械工作/全道)
- ・消費税増税後の反動の影響は少なからず10月の販売実績に影響があったと認識している。消費者還元事業は月額利用に上限があること、計画から実行までの内容について周知徹底がなされていたのかという疑問点も多少ある。また、増税後の反動減を抑える抑止効果の程は管轄官庁より発表を聞きたいと率直に思っている。今後も経過を見届けることになると思われる。(家具/旭川)

非製造業 (卸・小売・商店街・サービス業)

- ・消費税増税前の仮需で前月増収となった企業は軒並み減収。特に医療器械等高額なものに影響が大きかった。収益状況も不変と悪化が拮抗しているが月末にかけてやや回復の兆しが見られた。当団地の新ビルの完成が迫り、組員の中で事務用什器備品の取扱企業は売上利益とも好調。団地再整備は12月の建物完成に向かって順調に工事が進行している。(各種商品/札幌)
- ・当組合の主な収入源の一つである不動産部門について、組合会館内のテナントの空き室が2室あったが、この一ヶ月の間に2室共に入居する事業者が決まり、これでテナント5室の内4室が埋まり、今後の当組合における安定的な収入源の確保が出来た。(各種商品/帯広)
- ・消費税率アップの懸念もあったが、取引先企業の小売は前年並を上回る推移で、流通菓子卸もほぼ前年並推移となった。やや価格戦略が強まり、値上げ傾向は続き、厳しいところは継続しているものの、予想された反動影響が小さいのが好材料だった。(菓子/全道)
- ・増税後、先食い商品の落ち込みが見られるが、一過性と考えている。(電気資材/全道)
- ・前月の駆け込み需要の反動もあり、売上高は減少。(各種商品/滝川)
- ・9月期の消費税増税前の駆け込み需要の反動で、10月は家電量販店・家具等の大型商品の売上が減少し、前年より大幅に減少した。キャッシュレス・消費者還元事業が開始されたが、売上単価が低く、全体の減少分を補うには至っていない。キャッシングにおいても、増税直後の消費意識の低下からか、物販同様に大幅に減少した。(各種商品/旭川)
- ・先月の駆け込み需要の反動で昨年の売上と比較すると減少している。(各種商品/札幌)
- ・客入り、売上額などに極端な変化はなかった。観光シーズンなのににぎわいを感じられる日がありなかった。生魚(サンマ、鮭など)は出初めの物が多く、地元客の関心を得られるほどの価格や量がなかったためと思われる。(各種商品/小樽)
- ・10月取扱高は、前年比105%の状況。前月は消費税増税の駆け込み需要で取扱高が大きく増加したが、今月はその反動なのかキャッシュレス消費者還元事業開始による伸びは少ない。事業を良く理解できていない販売店も多く、これから消費者とのトラブルが発生しないよう更に告知が必要と感じている。(各種商品/苫小牧)
- ・10月より、消費税増税により、予想されたこととは言え、売り上げが大きく下落している。カード払いによる消費者還元制度も今のところ売り上げに関して効果は薄いようである。(カード利用件数は増となっている。)(各種商品/帯広)
- ・函館市水産物地方卸売市場の10月の生鮮スルメイカ取扱量も前年同月比

- 4.7%減の121トンと低調から抜け出せず、6月からの累計でも過去最低を更新したようだ。11月の見通しについても前年を下回ると予測されており、道南のスルメイカ漁はすでに終盤に差し掛かっており、漁況回復の兆しが見られないまま終了を迎えようである。(各種商品/函館)
- ・原油価格は9月中旬以降急騰したが、市況価格は10月からの消費税増税への対応から、9月中の値上げは見送ったが、10月に入り一斉に値上げとなった。価格については、昨年同期に比べガソリン、灯油ともに12円/ℓ前後下がっているが、消費税増税前の駆け込み需要に伴う反動及び例年に比べ気温が高く推移したことから、販売数量、売上高ともに大幅に落ち込んだ。(燃料小売業/稚内)
- ・10月の各組員の状況については、消費税増税の駆け込み需要の反動を受けたとの声が多かった。小売業の組員からは、11月から年末にかけても増税後の消費低迷により、先行きを不安視する声が前月以上に多く聞かれた。部門別の取扱高については、全体的には前年を若干上回る結果となった。このマイナスをカード部門でカバーした状況である。(各種商品/釧路)
- ・10月卸値は前半若干の値下げ改定で推移、後半は値上げ改定と小売店の販売価格も下方修正から上方修正と推移したものの収支状況では従来と同じく量販店の安値攻勢により一部厳しい利益口銭の圧縮での推移に変化はない模様である。(燃料小売業/旭川)
- ・増税に対するポイント還元の影響を期待したが、そもそも自転車の販売は終わっている時期なので特筆すべきことはなかったようだ。雪も遅いので、除雪機の方もパツとしない。(自転車・自動車/全道)
- ・10月は飲食店の夜営業の店はかなり厳しい売上だった。ランチの店、ホテル等はそれほどの影響は出なかった。全体的には、消費税増税前の買いだめで商品全体の売上・動きが悪かった。(各種食料品/札幌)
- ・9月の駆け込み需要の反動で、消費税増税による売上減少が懸念される。(帯広市/帯広)
- ・消費税増税の影響が少なからず出ている。ポイントカードの導入及びキャッシュレス決済は低調である。(網走市/網走)
- ・道内企業の雇用状態が3年連続で悪化し、特に宿泊業、運輸業、建設業で人手不足が深刻だが、道内IT業界も劣らず、人手不足、人材不足が相変わらず続いて有効求人倍率が高止まりしている。対応策として「中途採用強化」「業務の効率化」「新卒者の採用確保」そして「離職者の防止」を掲げているが、採用コストに見合った人材の量と質の確保が難しい状況。(ソフトウェア/全道)
- ・昨年は震災があった為、前年比の集客は前月に続き全体としては増。特に道外からの集客が増。インバウンドは前年対比では減少、前月から見ると回復傾向にはある。(旅館/音更)

非製造業 (建設・運輸業)

- ・10月の業況は、業界全体として、公共工事の発注は抑え気味になり、年度末に向けた準備に移っている時期と思われる。民間に関しては特に観光業界物件や農業関連の物件が継続的に発注されている様に感じる。電力系の事業に関しては、抑えた形で推移していると考えられる。また、国レベルでの省エネ化に向けた動きや、水銀灯の使用禁止の期限が迫ってきていることも背景にあり、照明器具のLED化が更に加速して進んでいくことが予測される。慢性的な問題点として、人に関わる件については中小企業にとって重くのしかかり、業界として長期的に対応をしていかなければならない状況である。(電気工事/全道)
- ・年末に向けて完成工事額がやや増加傾向。(左官工事/全道)
- ・10月末時点の市の公共工事の完工率は75%となっており、残工事も11月上旬には完了する。名寄市上下水道部門が配水管・給水管の将来的な維持管理や老朽管更新の方針を示しておらず、主導的な役割を果たしていないと感じる。また、地元の大手製紙工場が2年後に撤退する報道があり、関連取引会社の経営が今後懸念され

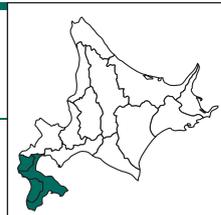
- ており、名寄市が商工会とともに影響調査を始めている。(管工事/名寄)
- ・売上高については、本州の台風が影響し、上下はあるようだ。(一般貨物自動車運送/小樽)
- ・消費税増税分を含む赤帽全国統一料金に赤帽北海道も移行した影響もあり、組員は荷主との料金交渉が難しくしている。(一般貨物自動車運送/全道)
- ・10月の荷動きについては、全般的に消費税増税前の前倒しの影響があり減少傾向にあったが、コンテナカーゴが台風被害のためJR路線不通でトラック輸送への切替えがあり、車両不足が続いている。域内輸送は、ユニック貨物はまずまずの状況にあるが、多少消費税増税の影響を受けている。(一般貨物自動車運送/石狩)
- ・売上高は、前年同月比1.1%減少。乗務員数は、前年同月比6.7%減少。9月分チケット取扱高は、前年同月比1.5%増加。(一般乗用旅客/旭川)
- ・ダンプ業者は前月に続き好転がみられるが、業界全体としては横ばいが続く。(一般乗用旅客/苫小牧)

支部だより



道南支部(函館市)

所管／渡島総合振興局・檜山振興局管内
駐在職員／越川事務所長・廣木主事



SNSで投票！ヘア Session 函館

函館美容業協同組合(永井龍剛理事長、組合員86人)が、これまでのヘアショーとヘアコンテストを発展的に融合させた新たなイベント「ヘアSession函館」を10月14日に函館国際ホテルで初開催しました。

新イベントの特徴は、出場者のヘアデザインや技術の評価を会場審査だけでなく、画像を即座にインスタグラムとツイッターに公開して「いいね！」や「リツイート」で投票を受け付けることです。メインイベントのヘアショーでは、出場した8人の美容師が2人ずつステージ上で約15分間モデルにカットやセットを施し、それぞれが独創的なヘアスタイルを披露しました。投票の結果、函館市内の美容室「crancs」の田中隆嗣さんが



カットショー

最多得票で「ギャラリーアワード」を獲得しました。

また、若手美容師や美容学校生を対象に、はこだて頂上ワインディングコンテストと銘打ったパーマをか



ワインディングコンテスト

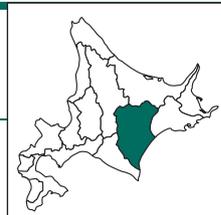
ける際に髪にロッドを巻く(ワインディング)技術を競うコンテストも行われました。会場に詰めかけた観客は美容師たちが見せる鮮やかなテクニックに目を奪われていました。



照明やBGMによる演出も

十勝支部(帯広市)

所管／十勝総合振興局管内
駐在職員／戸沼事務所長・竹内主事



オータムフェスタ in 十勝川

10月26日から11月24日までガーデンスパ十勝川温泉を会場に、十勝の秋ならではの魅力を体験できるオータムフェスタin十勝川(主催:音更町十勝川温泉観光協会)が開催されました。

ハロウィンにちなんだかぼちゃのランタンづくり体験では、作ったランタンを記念に持ち帰るだけでなく、展示してもらうこともできます。夜、明かりが灯されたたくさんのランタンで会場は幻想的な雰囲気に包まれました。

また、ワインとチーズの夕べでは、地元産のワインと十勝品質事



業協同組合(佐藤聡理事長、組合員12人)の共同熟成庫で作られ

たモールウォッシュチーズや生ハムなど、十勝ならではの味覚を堪能。ほか



会場入口

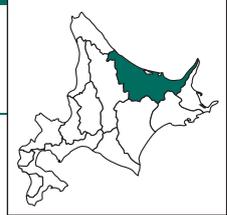
にも特産品が当たる抽選会や、水・土曜日には地元の演奏家によるミニコンサートが催されるなど、多彩なプログラムで秋の夜長を楽しめるイベントでした。

来年1月25日からは冬の夜の一大ページント「彩凜華」が約1か月間開催されます。今回、行きそびれた方は、冬の十勝川温泉で北海道遺産のモール温泉と光と音のファンタジックショーに身も心も浸ってみてはいかがでしょうか。



網走支部(網走市)

所管/オホーツク総合振興局管内
駐在職員/津川事務所長・外川主任



3地区事務長会による合同視察研修会を実施

オホーツク(網走支部)、十勝、釧根の3地区の事務長会が9月19日に合同視察研修会を実施しました。

今回の合同実施は地域の枠を越えた事務長会会員の交流と情報交換を目的としたもので、総勢約40名の参加がありました。

この日、3地区の事務長会の一行はそれぞれの地元を出発し、各自の研修日程を消化したうえで共通の研修先とした斜里町にある(株)知床エゾシカファーム(エゾシカ食肉事業協同組合組合員)を訪れました。ここは生



体捕獲したエゾシカを一時飼育した後、食肉処理、加工、販売まで行う施設で、

食肉センターは衛生管理上、一般には公開していませんが、特別の計らいで見学をさせていただきました。個体数の管理や農林業被害などの対策が課題となっているエゾシカの有効活用を実践する企業の現場での研修はとても貴重なものでした。

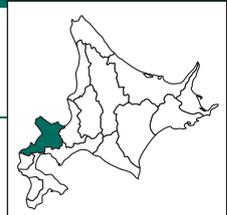


その後は、網走市内で合同交流会を開き、各地区の活動状況の報告や情報・意見交換を活発に行い、地域や業種の垣根を越えた交流を深めることができました。

このように非常に有意義なものとなったことから、オホーツク事務長会では今後もこうした合同での事業を企画提案していきたいと考えています。

後志支部(小樽市)

所管/後志総合振興局管内
担当/連携支援部 佐々木主任



文化庁メディア芸術祭小樽展開催

小樽市の中心街で文化庁メディア芸術祭の地方展が来年1月11日から1月26日まで開催されます。

文化庁が主催するこの芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門における優れた作品の顕彰と受賞作品の展示や関連イベントを行うメディア芸術の総合フェスティバルで、毎年東京の国立新美術館をメイン会場に行われています。2002年からは地方展も開催されており、道内では2016年の札幌に続き、今回の小樽が2か所目となります。

小樽展は、「メディアナラティブ～物語が生まれる港街で触れるメディア芸術」をテーマに、小樽市、小樽市教育委員会などが共催し、小樽市産業会館、市立小樽文学館、小樽市観光物産プラザ、小樽市民センターの4会場で約20組の作品の展示・上映が行われ、2012年の第16回エンターテインメント部門で審査委員会推薦

作品となった「初音ミク」の関連作品展も予定されています。

どの会場も小樽運河や歴史ある建築物が集まるエリアの周辺にあり、街歩きをしながら立ち寄れて、しかも入場は無料ですので、ぜひ足を運んでみてください。



詳しくは、下記ホームページをご確認ください。
<https://otaru2019.j-mediaarts.jp/index.html>

中小企業大学校旭川校おすすめ研修のご案内

各市町村・金融機関・商工会議所・商工会等で助成制度があります。
詳細は、中小企業大学校旭川校（Tel：0166-65-1200）までお気軽にお問い合わせ下さい。

コースNo.
27

利益・資金計画策定講座 経営に活かす財務！計画的な利益 とキャッシュフローの確保

1月15日（水）～1月17日（金）

受講料：32,000円（税込）

対象者：経営者、経営幹部、その候補者

研修のねらい

経営計画との関係を含めて利益・資金計画の重要性を理解した上で、利益資金計画の策定のプロセスと運用にあたっての留意点を学びます。また事例企業の財務情報を基に利益・資金計画の作成に取り組みながら、計画策定と管理の仕方（PDCAサイクル）を身につけます。

カリキュラム概要

- ◆利益・資金計画のつくり方
- ◆財務分析による課題整理の仕方
- ◆経営の変化要因の整理の仕方
- ◆利益・資金計画作成の実践（演習）

講師

公認会計士 土屋 晴行氏

コースNo.
28

トラック運送業の業務改善講座 荷主からの信頼を高める業務品質 向上の仕組み（トラック運送業）

1月20日（月）～1月21日（火）

2月17日（月）～2月18日（火）

インターバル：4日間

受講料：36,000円（税込）

対象者：経営幹部、管理者、その候補者

研修のねらい

トラック運送業が直面する経営環境や課題を踏まえて、コスト・収益の見直しやIT活用等による業務改善の進め方について学ぶとともに、自社に合った「利益を生み出す」業務プロセス改善計画の立案に取り組みます。

カリキュラム概要

- ◆トラック運送業の事業・業務改善の考え方
- ◆生産性向上のための業務改善計画策定
- ◆事業・業務改善を定着させる仕組みづくり

講師

近代経営システム研究所
代表 高森 弘純氏

コースNo.
29

採用を強化するIT活用講座 採用難の時代における人出不足 対応とIT活用（札幌開催）

1月27日（月）～1月29日（水）

受講料：32,000円（税込）

対象者：経営幹部、管理者、その候補者

研修のねらい

企業を取り巻く環境を踏まえ、人出不足対応を図る上での考え方や、人材確保を行う際に重要となる自社のアピールポイントの見つけ方について演習を交えて学ぶとともに人材確保のためのIT活用について併せて学びます。

カリキュラム概要

- ◆求職者の心をつかむ自社アピール
- ◆ITを活用した人材確保
- ◆企業の未来を変える人材定着に向けた取り組み

講師

雄山商会株式会社
高田 佳昭氏

コースNo.
30

人材育成の考え方・進め方 少数精鋭を実現する！ 人材育成の進め方

2月5日（水）～2月7日（金）

受講料：32,000円（税込）

対象者：経営幹部、管理者、その候補者

研修のねらい

中小企業が限られた人材を“戦力”に育てるための視点や手法を理解し、強い組織を作り上げるための人材育成の進め方について演習や事例を交えて学んだ上で、自社の人材育成プランの立案に取り組みます。

カリキュラム概要

- ◆中小企業に求められる人材育成の進め方
- ◆人材育成プランの策定手順

講師

合同会社人材開発アカデミー
代表社員 笹森 光彦氏

講座内容詳細は、ホームページからもご覧いただけます。

中小 旭川

検索

資料請求や講座内容に関してお気軽にお問い合わせください。
電話 0166-65-1200
住所 旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

中小企業大学校 旭川校

経営者にも
退職金を!

小規模企業共済制度



ポイント① 常時使用する従業員が20名以下
(商業・サービス業では5名以下)の個人事業主、
個人事業主の共同経営者(2名まで)
及び会社の役員の方が加入できます。

ポイント② 無理のない掛金、税制面での大きなメリット!

- 掛金は毎月1,000円~70,000円(500円単位)の範囲内で自由に選択できます。
- 掛金は全額所得控除、受取りは「退職所得扱い」(一括受取)または「公的年金等の雑所得扱い」(分割受取)となります。

ポイント③ 事業資金の貸付け・災害時のサポートもあります!

- 事業資金等の貸付制度が利用できます(担保・保証人不要)。
- 地震・台風、火災等の災害時にも貸付けが受けられます。



全国加入者
約30万人の
実績!

経営セーフティ共済制度



ポイント① 中小企業で、引き続き1年以上事業を行っている方が加入できます。

- 取引先事業者が倒産して売掛金債権等が回収困難となった時に貸付けが受けられます。
- 取引先との商取引の事実確認だけで、迅速に貸付けが受けられます。

ポイント② 無理のない掛金、税制面での大きなメリット!

- 月額5,000円~200,000円(5,000円単位)の範囲内で自由に選択できます。
- 掛金は全額「損金(法人)」または「必要経費(個人事業)」に算入できます。

ポイント③ 最高8,000万円まで貸付けが受けられます。

- 掛金総額10倍の範囲内で、回収困難となった売掛金債権等の額
- 貸付条件は「無担保・無保証人」「無利子」※ただし、貸付けを受けた場合、貸付額の10分の1の額が、積立てた掛金から控除されます。

ポイント④ 40ヶ月以上掛けていれば、

- それ以降掛金を掛けなくても、共済金の貸付けは受けられますので安心です。
- 解約しても共済金の貸付けを受けていなければ積立てた掛金の全額が戻ります。



本制度についてのお問い合わせ・お申し込みは

北海道中小企業団体中央会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1-7 3階

TEL/011-231-1919
FAX/011-271-1109

本制度は、法律に基づき独立行政法人
中小企業基盤整備機構が運営しています。

(独)中小企業基盤整備機構
共済相談室

TEL 050-5541-7171



商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

札幌支店	〒060-0002 札幌市中央区北二条西 3-1-20	TEL : 011-241-7231
函館支店	〒040-0063 函館市若松町 3-6	TEL : 0138-23-5621
帯広支店	〒080-0013 帯広市西三条南 6-20-1	TEL : 0155-23-3185
旭川支店	〒070-0035 旭川市五条通 9-1703-81	TEL : 0166-26-2181
釧路営業所	〒085-0847 釧路市大町 1-1-1	TEL : 0154-42-0671

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



人を思う。未来を思う。

商工中金

北海道中小企業団体中央会

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3階

TEL 011-231-1919 FAX 011-271-1109

ホームページアドレス <https://www.h-chuokai.or.jp>

発行日/2019年12月1日(毎月1日発行)

*この機関誌は、誰もが読みやすいユニバーサルデザインフォントと環境にやさしい植物油インキを使用しています。

